

第31回研究成果報告会ご案内



日 時：2025年10月8日(水)

○研究成果報告(オンライン開催)
：14時00分～16時25分

○ポスターセッション
：11時00分～
(ホームページ上に掲載いたします)

開催方法：オンライン開催



株式会社原子力安全システム研究所

ごあいさつ

皆様におかれましては、平素より当研究所の活動に対し格別のご理解・ご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当研究所では今年度も「研究成果報告会」を開催して私共の研究成果の一端をご紹介します、皆様方のご参考に供するとともに、種々ご教示・ご助言を賜りたいと考えています。

第31回目となる今回も、先般、当研究所内で「優秀研究賞」として表彰した研究テーマを中心に発表するとともに、その他の研究成果につきましても概要をご覧いただけるポスターセッションを開催させていただきます。詳細は、右記プログラムをご覧ください。

なお、オンライン開催が広く定着した状況を鑑み、オンラインでの開催とさせていただきます。

ご多忙中とは存じますが、何卒万障お繰り合わせのうえ多数ご参加下さいますようご案内申し上げます。



(株)原子力安全システム研究所

取締役社長・所長

松村 孝夫

研究報告プログラム

◆ポスターセッション(11:00～)

◎研究成果報告会開会(14:00～)

あいさつ

取締役社長・所長 松村 孝夫

◎技術システム研究所研究報告(14:15～15:25)

●技術システム研究所の総括報告

技術システム研究所 副所長 高木 俊弥

●原子力発電プラントの疲労設計合理化への取り組み —エルボ配管の疲労寿命評価—

技術システム研究所 主席研究員 釜谷 昌幸

●原子炉容器の中性子照射脆化に関する研究

技術システム研究所 主席研究員 藤井 克彦

◆休憩(15:25～15:40)

◎社会システム研究所研究報告(15:40～16:20)

●社会システム研究所の総括報告

社会システム研究所 副所長 後藤 昌美

●近年の原子力発電をめぐる意見のダイナミズム

— 継続意識調査と要因配置サーベイ実験の結果から —
社会意識研究グループ 主任研究員 藤田 智博

◎閉会(16:25)

研究報告概要

●原子力発電プラントの疲労設計合理化への取り組み —エルボ配管の疲労寿命評価—

技術システム研究所 主席研究員 釜谷 昌幸

エルボ配管は地震荷重によって疲労損傷が蓄積しやすい部位となる。炭素鋼エルボ配管の疲労寿命は一般的な単軸疲労試験のそれよりも短いとの報告がある。一方、ステンレス鋼エルボ配管の寿命低下は明確には確認されていない。本研究では、直径約100mmのステンレス鋼および炭素鋼エルボ配管を用いて疲労試験を行った。その結果、炭素鋼エルボ配管の疲労寿命は単軸の疲労試験のそれよりも短くなった。一方、ステンレス鋼エルボ配管では疲労寿命が低下しないことが確認された。炭素鋼エルボ配管の疲労寿命低下の程度を定量化するとともに、疲労寿命が低下する要因を考察した。

●原子炉容器の中性子照射脆化に関する研究

技術システム研究所 主席研究員 藤井 克彦

原子力発電所の主要機器における重要な経年劣化事象に、原子炉容器の中性子照射脆化がある。原子炉容器は取り換えが非常に難しいため、60年超運転においても、精緻に照射脆化の進行を把握し、適切に照射脆化に対する健全性を評価し、継続して使用し続ける必要がある。本発表では、INSSの照射脆化への取り組みを述べ、INSSが国内では先駆的に実施した国内プラントの監視試験片の分析例や、特に最近注力して進めている実機の原子炉容器から採取されたサンプルの分析を紹介する。

●近年の原子力発電をめぐる意見のダイナミズム —継続意識調査と要因配置サーベイ実験の結果から—

社会意識研究グループ 主任研究員 藤田 智博

INSSでは、意識調査を継続的に実施することによって、原子力発電に対する人々の意見の動向を捉えてきた。2021年から2022年にかけて、人々の意見は、原子力発電に対して肯定的な方向に動いており、それは脱炭素電源法やその後の第7次エネルギー基本計画の策定といった制度面の変化の方向性と連動するものである。加えて、要因配置サーベイ実験という、継続的な意識調査とは異なる手法を採用し、原子力発電所の稼働と電力会社への評価がどう連動するのかを調査した。これらの調査結果から、近年の、原子力発電をめぐる人々の意見のダイナミズムをわかりやすく紹介したい。

ポスターセッションテーマ

社会システム研究所

●エネルギー問題におけるリスク・コミュニケーション —若年層の原子力発電に対する関心の内容と大きさ—

社会意識研究グループ 山下 信二

●教育現場におけるエネルギー環境教育の実践に関する アンケート調査の実施について

社会意識研究グループ 西野 加奈江

技術システム研究所

●照射ステンレス鋼の粒界劣化機構に関する検討 —粒界破壊に及ぼす照射誘起偏析とキャビティ形成の影響—

高経年化研究グループ 三浦 照光

●原子炉容器の照射脆化機構に関する研究 —ポップイン事象による Fe-Cu合金の照射硬化機構の検討—

高経年化研究グループ 前田 悠希

●2023年度 関西電力大飯発電所3号機 防災訓練シナリオに基づく解析

安全・防災研究グループ 川崎 郁夫

●PWR燃料体における機構論的CHF予測モデルの検証

安全・防災研究グループ 櫻井 征太郎

参加ご案内

①研究報告

◆参加方法

a) 右のQRコードを読み込んでいただき、必要事項を入力の上、お申し込み下さい。



b) または、事務局宛にE-mailにて次の事項を記載の上、お申し込み下さい。

- ・参加者氏名(フリガナ)
- ・勤務先・役職名
- ・電話番号

お申し込みいただいた方へは、追ってZoomウェビナー招待URLのご案内をメールにてお送りいたします。
(なお、申込時の個人情報につきましては、弊社の諸行事等の案内・送付のみに使用させていただきます。)

◆参加費

無 料

◆定 員

200名

大変恐縮ではございますが、運営の都合上、定員制とさせていただきますので、お早めの申し込みをお願いいたします。

◆申込締切

2025年 9月 30日(火)

②ポスターセッション

◆参加方法

- ・事前の参加お申し込みは不要です。
- ・10月8日(水)11時以降、弊社ホームページからのアクセスによる画像+音声の配信となります。
- ・質疑応答については、以降2週間、Web上にて実施(ホームページ上での画像+音声の発信は本年度末まで継続実施)いたします。

【お申し込み／お問い合わせ先】

〒919-1205

福井県三方郡美浜町佐田64号

㈱原子力安全システム研究所 管理部：福居、大原

E-mail: seika@inss.co.jp

TEL: 0770-37-9100 FAX: 0770-37-2008